資料１

ふるさとを誇り 未来を拓くまち 鹿角
第７次鹿角市総合計画将来都市像

令和４年度
市民アンケート実施結果（速報集計）

調査の概要

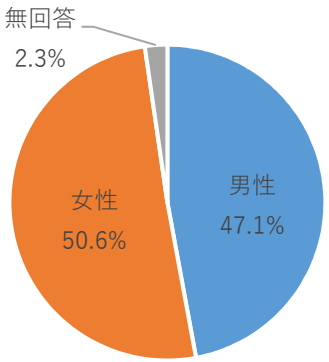
調査設計	◆調査対象　満 18 歳から 74 歳までの鹿角市民 ◆対象者数　900 人 ◆抽出方法　住民基本台帳からの無作為抽出	◆実施方法　自治会長等を通じた配付と郵送回収及び Web 回答 ◆調査期間　令和 4 年 5 月 30 日(月)～6 月 16 日(木) ◆有効回答　431 人（回収率 47.9%）
調査項目	１．市の政策について　２．運動の実施状況について　３．テレフォン病院２４について ４．芸術鑑賞について　５．コモッセの利用状況について　６．鹿角きりたんぽ FM について ７．中心市街地について　８．新型コロナウイルス感染症の影響について ９．カーボンニュートラルについて　10．まちの満足度について	

※ 基数となるべき実数（N）は、設問に対する回答者数です。また、本文中の百分率は少数点第２位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が 100 にならない場合や複数の項目の数値の合計が本文中の数値と一致しない場合があります。

調査回答者の属性

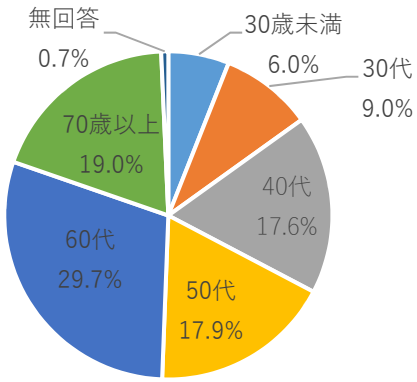
１　性別

区分	回答者数	構成比
男　性	203 人	47.1%
女　性	218 人	50.6%
無回答	10 人	2.3%
計	431 人	100%



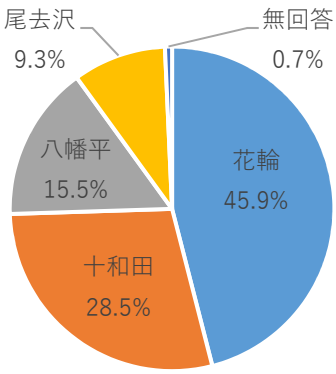
２　年代別

区分	回答者数	構成比
30 歳未満	26 人	6.0%
30 代	39 人	9.0%
40 代	76 人	17.6%
50 代	77 人	17.9%
60 代	128 人	29.7%
70 歳以上	82 人	19.0%
無回答	3 人	0.7%
計	431 人	100%



３　地区別

区分	回答者数	構成比
花　輪	198 人	45.9%
十和田	123 人	28.5%
八幡平	67 人	15.5%
尾去沢	40 人	9.3%
無回答	3 人	0.7%
計	431 人	100%



1 市の政策について

設問２　あなたは、市が進めている取組にどのくらい満足していますか。また、今後のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えていますか。あなたの考えに一番近い番号を**それぞれ１つずつ選んで**○をつけてください。

【市が進めている取組に対する満足度】

第 7 次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた 32 の取組方針に関連する事柄について、5「満足」、4「やや満足」、3「普通」、2「やや不満」、1「不満」、0「わからない」の中から１つを選択する形式で「これまでの満足度」に関する状況を調査しています。

順位	R3	満足度スコア	回答者の割合						
			満足(5)	やや満足(4)	普通(3)	やや不満(2)	不満(1)	わからない	無回答
１位	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	**3.27**	9.7%	19.3%	56.8%	6.0%	3.5%	2.3%	2.3%
２位	心身の健康づくり	**3.21**	6.3%	19.3%	57.5%	7.4%	2.3%	4.2%	3.0%
３位	文化財の保存	**3.14**	4.4%	19.3%	54.1%	8.6%	3.5%	7.7%	2.6%
４位	衛生的で良好な生活環境の確保	**3.08**	8.6%	16.9%	49.7%	10.0%	8.4%	4.6%	1.9%
５位	火災や救急に対する体制の強化	**3.07**	3.5%	13.2%	64.0%	7.4%	3.0%	6.7%	2.1%
	防犯や交通安全の推進	**3.07**	2.1%	12.5%	68.2%	7.0%	1.9%	5.6%	2.8%

市が進めている取組に対する満足度として最も高い評価を得たのは、「ごみの適正処理と資源リサイクルの推進」です。5 点を満点として点数化した満足度のスコアは 3.27、29.0%の人が満足・やや満足、56.8%の人が普通という評価をしています。

２番目に多く選ばれたのは、「心身の健康づくり」です。満足度のスコアは 3.21、25.5%の人が満足・やや満足、57.5%の人が普通という評価をしています。

３番目に多く選ばれたのは「文化財の保存」です。満足度のスコアは 3.14、23.7%の人が満足・やや満足、54.1%の人が普通という評価をしています。

４番目は、「衛生的で良好な生活環境の確保」です。満足度のスコアは 3.08、25.5%の人が満足・やや満足、49.7%の人が普通という評価をしています。

５番目は、「火災や救急に対する体制の強化」です。満足度のスコアは 3.07、16.7%の人が満足・やや満足、64.0%の人が普通という評価をしています。

同じく５番目の「防犯や交通安全の推進」は、満足度のスコアが 3.07、14.6%の人が満足・やや満足、68.2%の人が普通という評価をしています。

［参考］第６次総合計画後期基本計画において効果が得られていると感じる取組

順位	H28	H29	H30	R1	R2
１位	子育て支援の充実	子育て支援の充実	観光の振興	子育て支援の充実	高齢者福祉の充実
２位	高齢者福祉の充実	健康づくりの推進	子育て支援の充実	高齢者福祉の充実	快適環境の創出
３位	健康づくりの推進	高齢者福祉の充実	健康づくりの推進	健康づくりの推進	子育て支援の充実
４位	観光の振興	鹿角ライフの促進	高齢者福祉の充実	観光の振興	水道水の安定供給
５位	スポーツの推進	スポーツの推進	鹿角ライフの促進	農業生産の振興	健康づくりの推進 消防・救急体制の充実

【今後のまちづくりに対する重要度】

第 7 次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた 32 の取組方針に関連する事柄について、5「重要」、4「やや重要」、3「普通」、2「あまり重要でない」、1「重要でない」、0「わからない」の中から 1 つを選択する形式で「これからの重要度」に関する状況を調査しています。

順位	R3	重要度スコア	回答者の割合						
			重要(5)	やや重要(4)	普通(3)	あまり重要でない(2)	重要でない(1)	わからない	無回答
1 位	適切な医療を受けられる体制の整備	**4.49**	58.2%	25.8%	9.5%	0.7%	0.2%	0.9%	4.6%
2 位	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援	**4.31**	45.0%	31.1%	12.3%	1.4%	0.7%	4.6%	4.9%
3 位	地域産業の成長に対する支援	**4.28**	38.3%	36.9%	12.1%	0.7%	0.0%	6.5%	5.6%
4 位	地域ぐるみの子育て支援の充実	**4.27**	43.9%	28.1%	16.5%	0.9%	0.5%	4.9%	5.3%
5 位	子どもから青少年までの生きる力の育成	**4.14**	37.4%	31.6%	21.6%	0.9%	0.2%	3.2%	5.1%

今後のまちづくりに対する重要度として最も多くの方に選ばれたのは、「適切な医療を受けられる体制の整備」です。5 点を満点として点数化した重要度のスコアは 4.49、84.0%の人が重要・やや重要という評価をしています。

2 番目に多く選ばれたのは、「市民等の意欲のある就労・就農対する支援」です。重要度のスコアは 4.31、76.1%の人が重要・やや重要という評価をしています。

3 番目に多く選択されたのは、「地域産業の成長に対する支援」です。重要度のスコアは 4.28、75.2%の人が重要・やや重要という評価をしています。

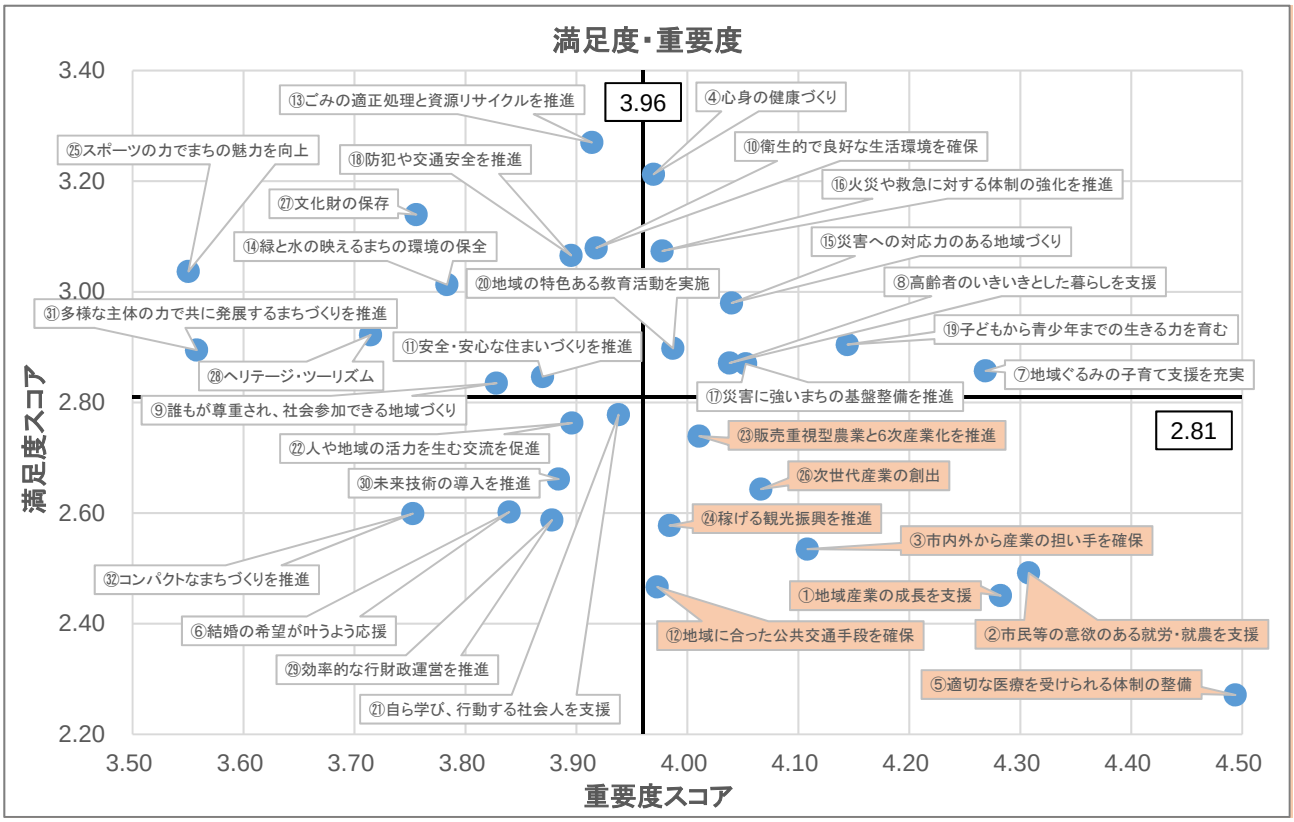
4 番目は「地域ぐるみの子育て支援の充実」で、重要度のスコアは 4.27、71.9%の人が重要・やや重要という評価をしています。

5 番目は「子どもから青少年までの生きる力の育成」で、重要度のスコアは 4.14、68.9%の人が重要・やや重要という評価をしています。

［参考］第 6 次総合計画後期基本計画においてもっと力を入れてほしいと感じる取組

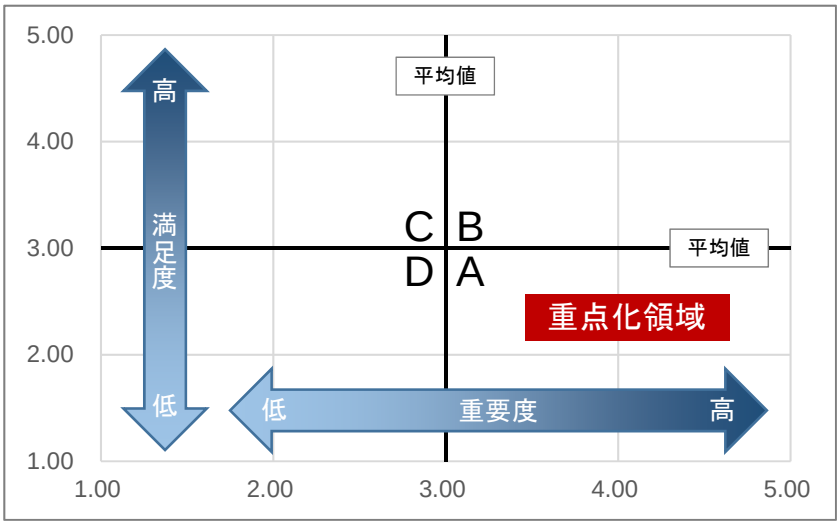
順位	H28	H29	H30	R1	R2
1 位	雇用の安定	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実
2 位	地域医療体制の充実	雇用の安定	商店街の活性化	商店街の活性化	商店街の活性化
3 位	商店街の活性化	商店街の活性化	雇用の安定	学校教育の充実	雇用の安定
4 位	学校教育の充実	学校教育の充実	学校教育の充実	雇用の安定	地域産業の活性化
5 位	子育て支援の充実	観光の振興	地域産業の活性化 公共交通の確保	市街地の整備	公共交通の確保

【満足度・重要度のクロス分析】



【満足度・重要度をクロス分析する散布図の見方】

本市の 32 の取組方針における「満足度」と「重要度」の回答結果からそれぞれの平均を求め、縦軸に満足度、横軸に重要度をとり、散布図として表しています。散布図では、「満足度」と「重要度」の平均値から 4 つの領域に分けることができ、特に A 領域は市民の満足度が低く、かつ今後のまちづくりにとって重要度が高いと考えている「重点化領域」となり、重点的な改善が求められる分野となります。



満足度・重要度が共に高いのは、「④心身の健康づくり」、「⑦地域ぐるみの子育て支援を充実」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしを支援」、「⑮災害への対応力のある地域づくり」、「⑯火災や救急に対する体制の強化を推進」、「⑰災害に強いまちの基盤整備を推進」、「⑲子どもから青少年までの生きる力を育む」、「⑳地域の特色ある教育活動を実施」であり、今後も重点的に取組を継続していく分野といえます。

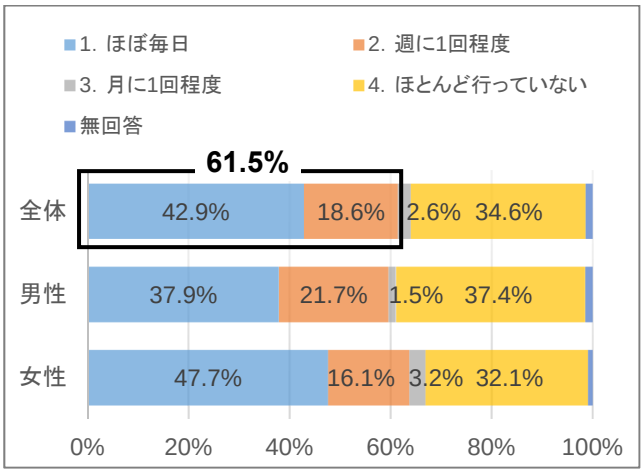
一方、満足度が低く、重要度が高いのは、「①地域産業の成長を支援」、「②市民等の意欲のある就労・就農を支援」、「③市内外から産業の担い手を確保」、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑫地域に合った公共交通手段を確保」、「㉓販売重視型農業と６次産業化を推進」、「㉔稼げる観光振興を推進」、「㉖次世代産業の創出」の８項目でした。人口減少が進む中で、産業の高付加価値化や産業人材の確保は地域経済活性化の喫緊の課題となっており、本市の強みである豊富なエネルギー資源を利用する産業の育成や世界遺産を十分に生かした観光振興等によって市民の所得向上につながる取組が求められています。また、地域医療体制の整備については、引き続き医師確保対策が求められていると考えられます。

取組方針	満足度		重要度	
	スコア	順位	スコア	順位
①地域産業の成長を支援します	2.45	31 位	4.28	3 位
②市民等の意欲のある就労・就農を支援します	2.49	29 位	4.31	2 位
③市内外から産業の担い手を確保します	2.53	28 位	4.11	6 位
④心身の健康づくりに取り組みます	3.21	2 位	3.97	15 位
⑤適切な医療を受けられる体制を整えます	2.27	32 位	4.49	1 位
⑥結婚の希望が叶うよう応援します	2.60	24 位	3.84	25 位
⑦地域ぐるみの子育て支援を充実します	2.86	16 位	4.27	4 位
⑧高齢者のいきいきとした暮らしを支援します	2.87	14 位	4.04	9 位
⑨誰もが尊重され、社会参加できる地域をつくります	2.83	18 位	3.83	26 位
⑩衛生的で良好な生活環境を確保します	3.08	4 位	3.92	18 位
⑪安全・安心な住まいづくりを進めます	2.85	17 位	3.87	24 位
⑫地域に合った公共交通手段を確保します	2.47	30 位	3.97	15 位
⑬ごみの適正処理と資源リサイクルを進めます	3.27	1 位	3.91	19 位
⑭緑と水の映えるまちの環境を守ります	3.01	8 位	3.78	27 位
⑮災害への対応力のある地域をつくります	2.98	9 位	4.04	9 位
⑯火災や救急に対する体制の強化を進めます	3.07	5 位	3.98	13 位
⑰災害に強いまちの基盤整備を進めます	2.87	14 位	4.05	8 位
⑱防犯や交通安全を進めます	3.07	5 位	3.90	20 位
⑲子どもから青少年までの生きる力を育みます	2.90	11 位	4.14	5 位
⑳地域の特色ある教育活動を実施します	2.90	11 位	3.99	12 位
㉑自ら学び、行動する社会人を支援します	2.78	19 位	3.94	17 位
㉒人や地域の活力を生む交流を促進します	2.76	20 位	3.90	20 位
㉓販売重視型農業と6次産業化を進めます	2.74	21 位	4.01	11 位
㉔稼げる観光振興を進めます	2.58	27 位	3.98	13 位
㉕スポーツの力でまちの魅力を高めます	3.04	7 位	3.55	32 位
㉖次世代産業の創出に取り組ます	2.64	23 位	4.07	7 位
㉗文化財の保存に取り組みます	3.14	3 位	3.76	28 位
㉘ヘリテージ・ツーリズムに取り組みます	2.92	10 位	3.71	30 位
㉙効率的な行財政運営を推進進めます	2.59	26 位	3.88	22 位
㉚未来技術の導入を進めます	2.66	22 位	3.88	22 位
㉛多様な主体の力で共に発展するまちづくりを進めます	2.89	13 位	3.56	31 位
㉜コンパクトなまちづくりを進めます	2.60	24 位	3.75	29 位

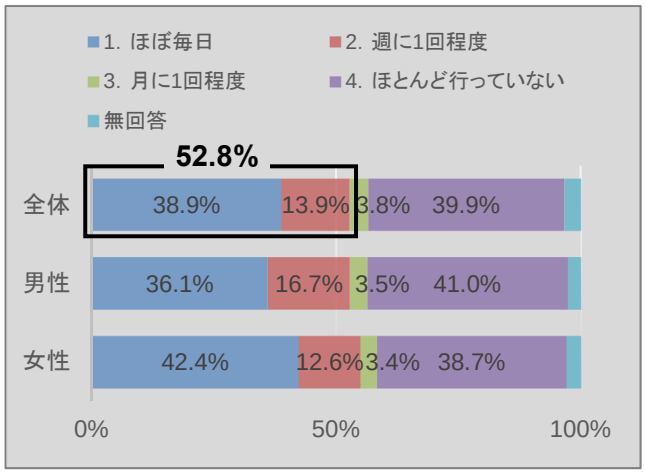
2 運動の実施状況について

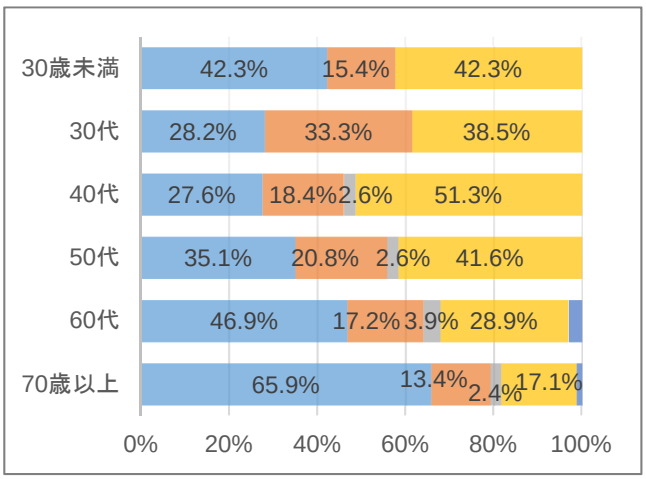
設問３　あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、１回あたりの時間はどれくらいですか。

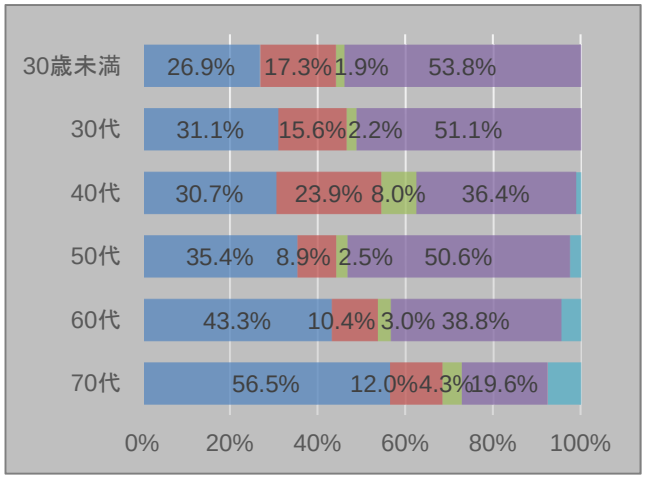
R4 市民アンケート結果



（参考）R3 市民アンケート結果







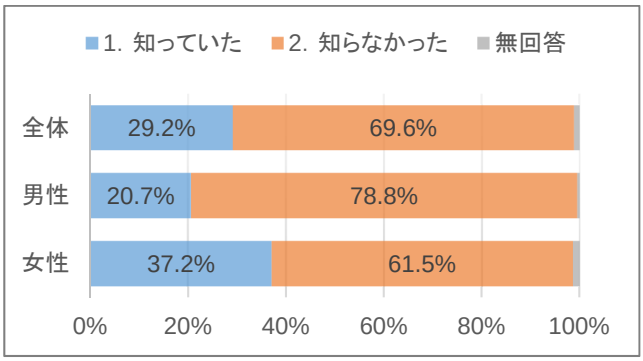
【分析概要】

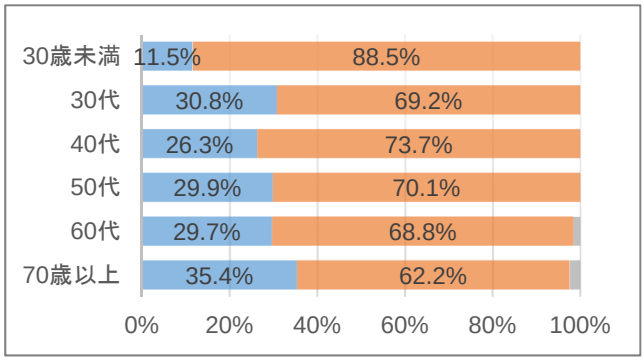
▶週１回以上、運動やスポーツを実施している割合は、61.5％と前年を 8.7 ポイント上回っています。

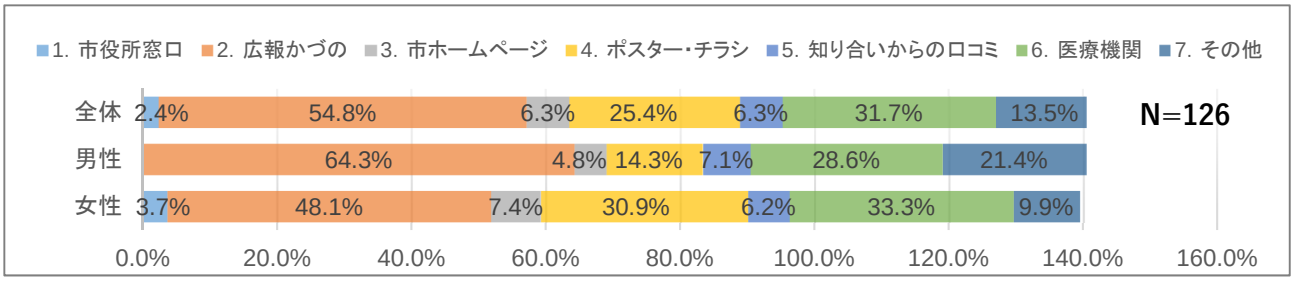
▶年代別では、40 代が昨年より 8.6 ポイント下回ったものの、他の年代では 10 ポイント以上上回りました。コロナ禍での新しい生活様式に順応し、生活に運動を取り入れる人が多くなったと言えます。

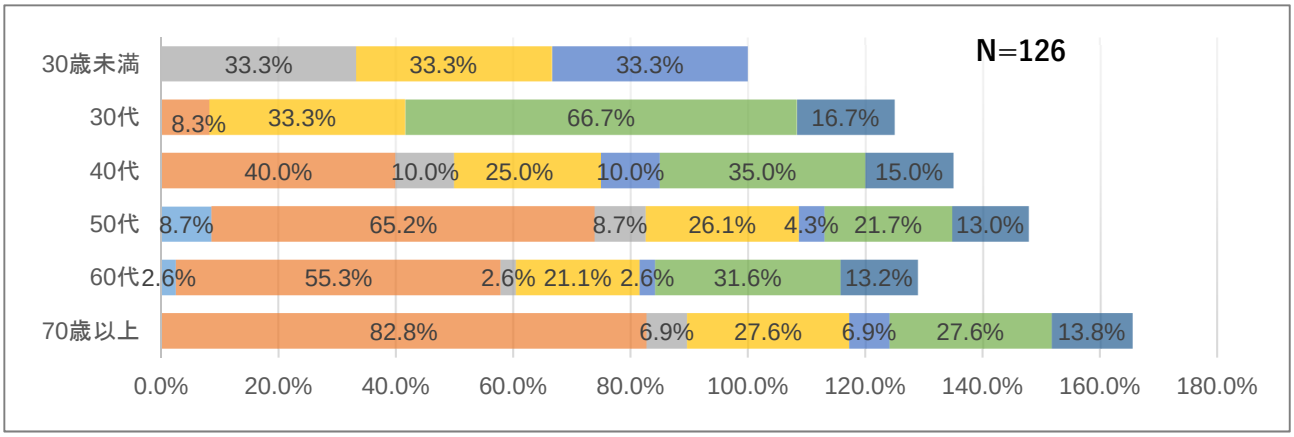
3 「テレフォン病院２４」事業について

設問４　あなたは、「テレフォン病院２４」事業を知っていましたか。また、何で知りましたか。









【分析概要】

▶「知っていた」と回答した方の割合は 29.2%となりました。年代別では、30 歳未満が 11.5%ととりわけ低く、その他の年代でも 20～30%台となっており、全体的に認知度が低いことがうかがえます。

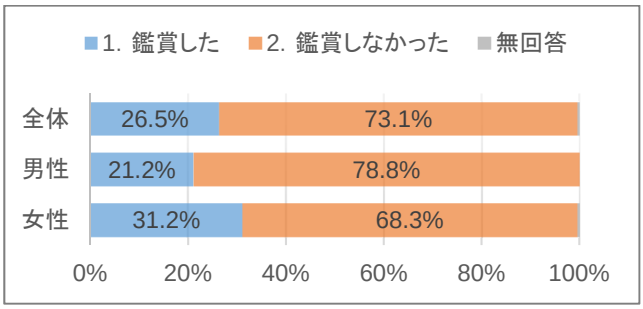
▶知った方法については、「広報かづの」が 54.8%と最も多く、次いで「医療機関」が 31.7%、「ポスター・チラシ」が 25.4%となりました。

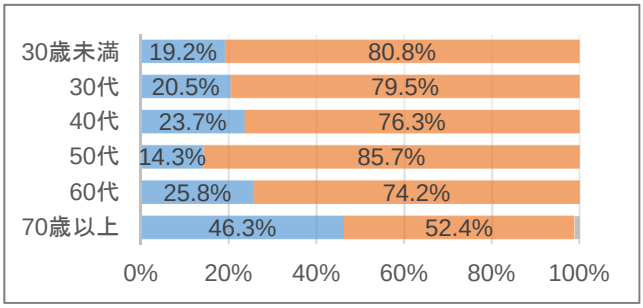
▶年齢別の傾向としては、中高年齢層で年齢を重ねるに従い「広報かづの」が多くなり、若い年代では「医療機関」「ポスター・チラシ」が多くなっています。これは、子育て世代が病院や公共施設で知る機会が多いことをうかがわせる結果と言えます。

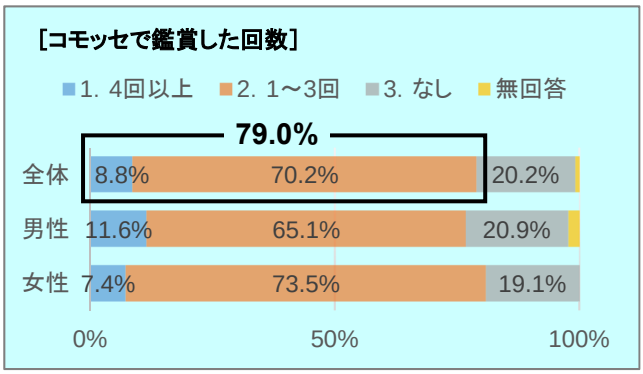
4　芸術鑑賞について

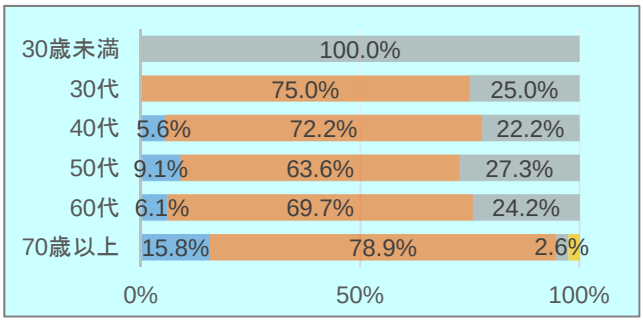
設問５　あなたは、昨年１年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等）をしましたか。また、コモッセで鑑賞したものは何回ありましたか。

R4 市民アンケート結果

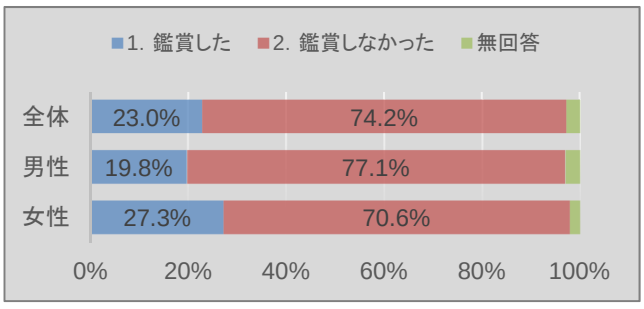


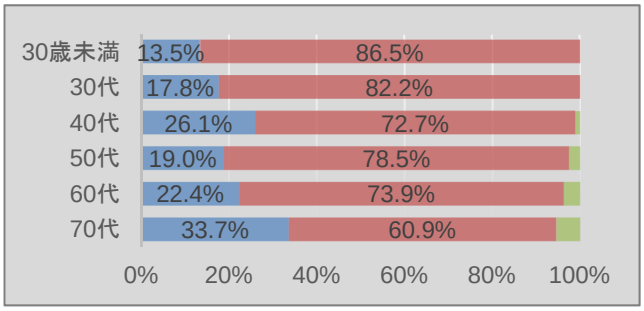


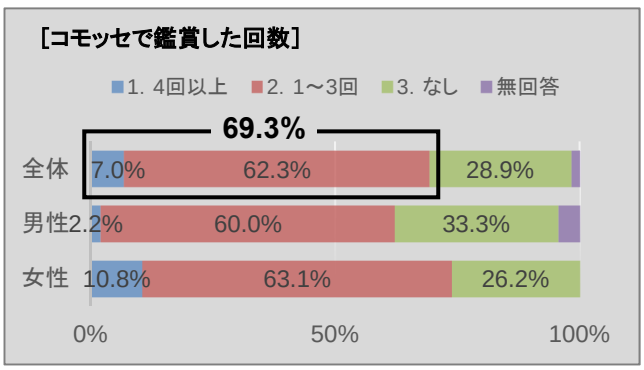


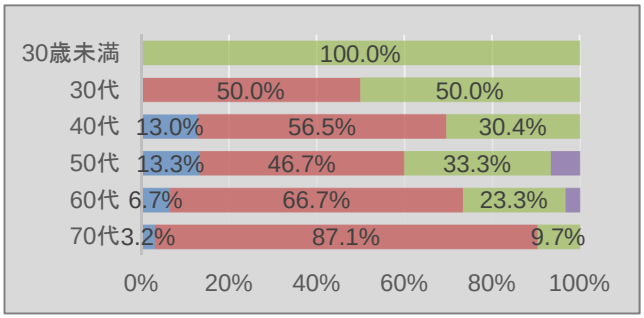


（参考）R3 市民アンケート結果









【分析概要】

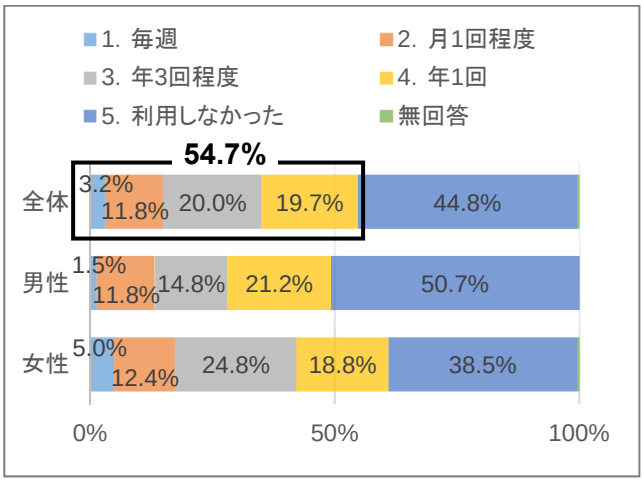
▶芸術鑑賞した人の割合は 26.5％と昨年を 3.5 ポイント上回りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍前の水準（令和元年：39.0％）までは戻っていないことがうかがえます。

▶「鑑賞した」人のうち、コモッセで鑑賞した割合は 79.0％となりました。年代別では、30 歳未満を除いた各年代で 70％以上となっており、30 代の 1 回以上鑑賞した割合と 70 歳以上の 4 回以上鑑賞した割合が増加しました。

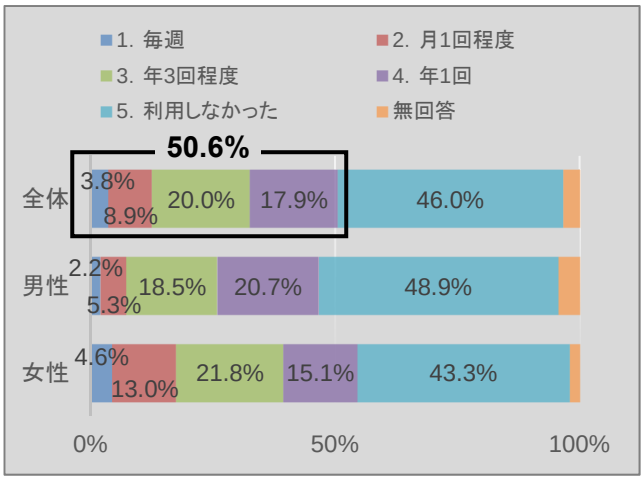
5　コモッセの利用状況について

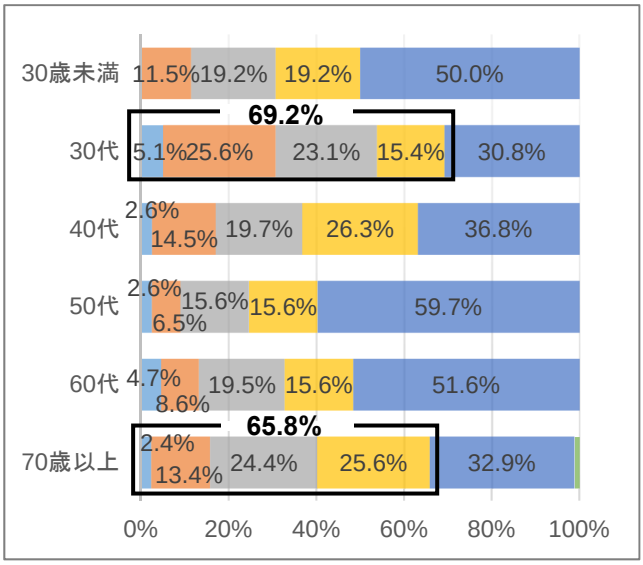
設問６　あなたは、昨年１年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

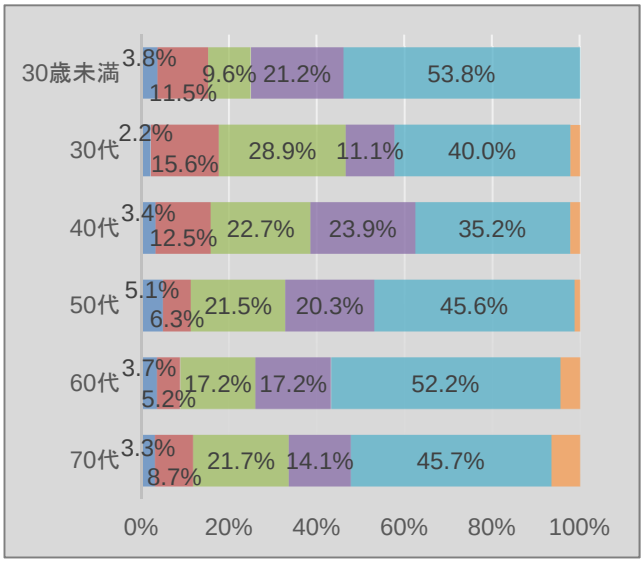
R4 市民アンケート結果



（参考）R3 市民アンケート結果







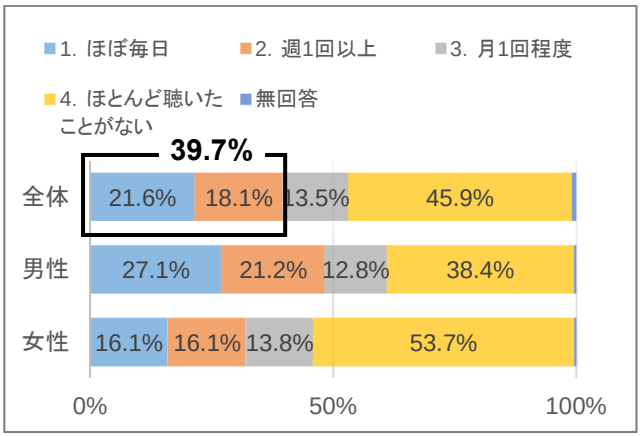
【分析概要】

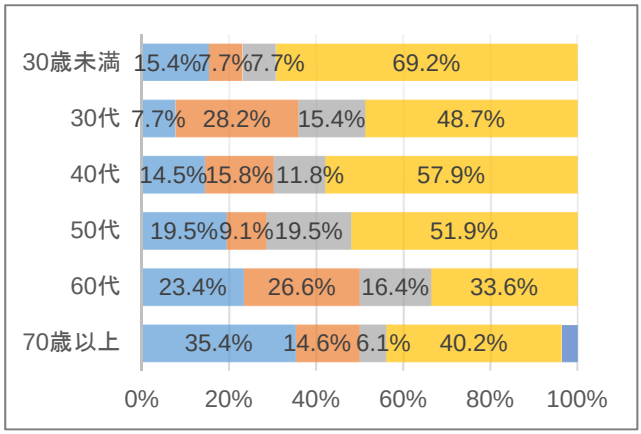
▶コモッセを利用した人は 54.7%で昨年を 4.1 ポイント上回りました。

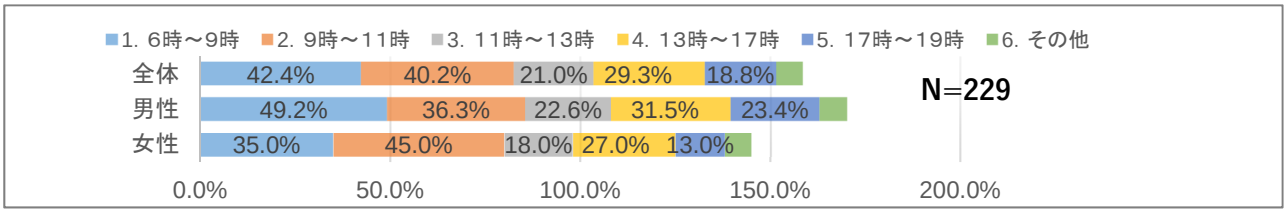
▶年代別では、30 代が 69.2%で最も多く、次いで 70 歳以上の 65.8%であり、昨年最も多かった 40 代も 0.6 ポイント増えているもののそれを上回る利用がありました。

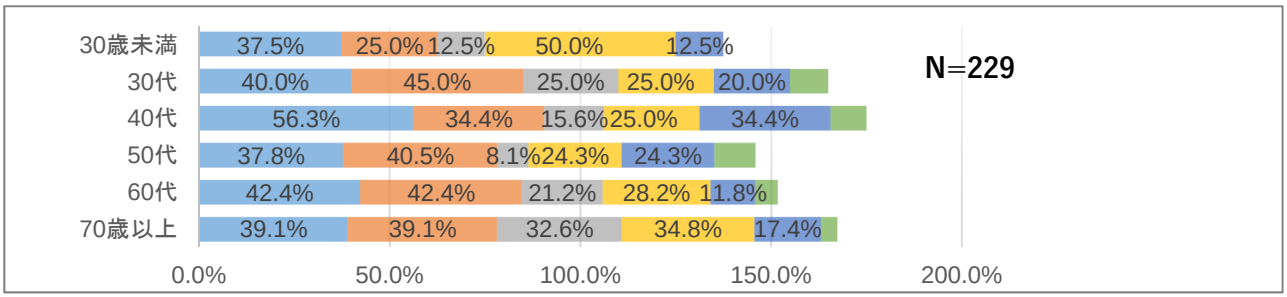
6 鹿角きりたんぽＦＭについて

設問７　あなたは、きりたんぽＦＭをどの程度聴いていますか。また、よく聴く時間帯はありますか。









【分析概要】

▶週１回以上、きりたんぽＦＭを聴いている割合は、39.7％でした。

▶年代別では、60 代が最も多く、次いで 70 歳以上となっています。

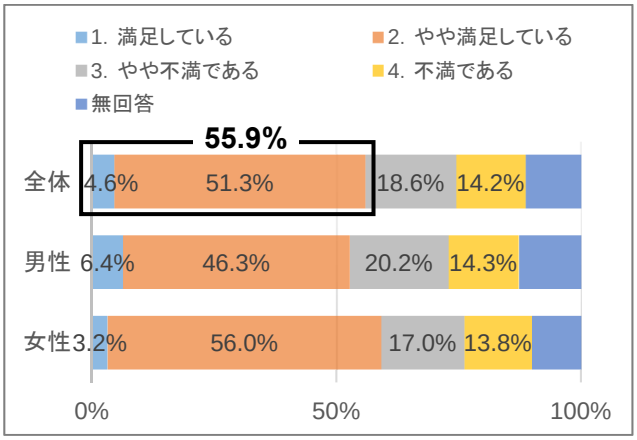
▶最も多く聴かれている時間帯は 6 時～ 9 時の 42.4％で、次いで 9 時～11 時の 40.2％となっており、午前中に聴く人が多い傾向にあると言えます。

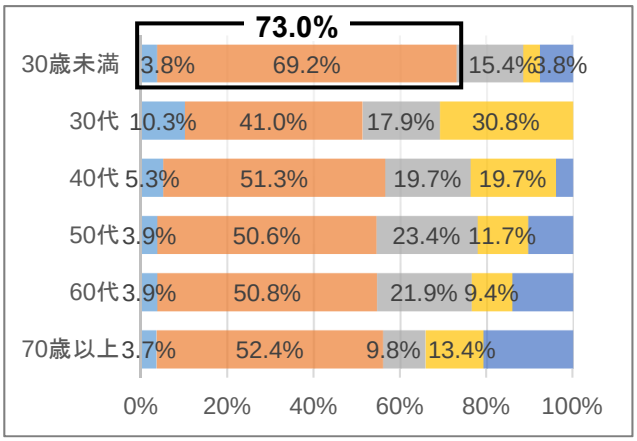
▶年代別では、全体的に午前中に聴く人が多い傾向にあるものの、30 歳未満については 13 時～17 時の時間帯に最も多く聴かれています。

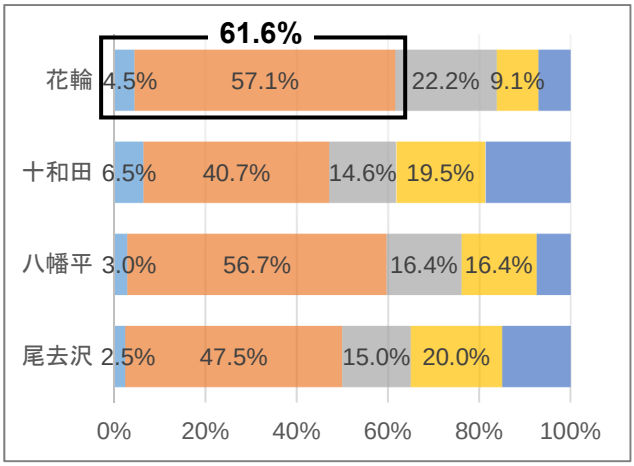
7 中心市街地について

設問８　あなたは、中心市街地の生活環境（住みごこちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

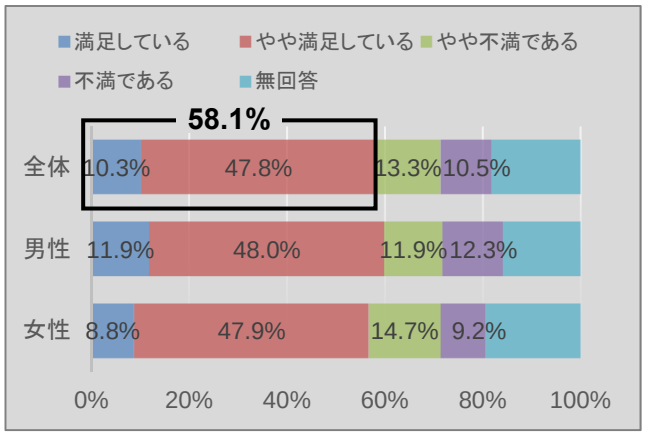
R4 市民アンケート結果

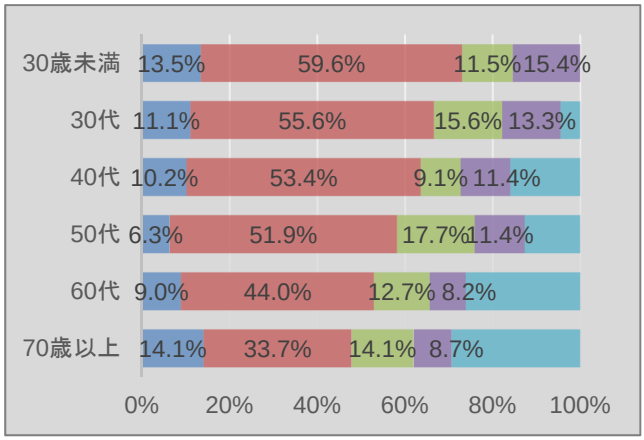


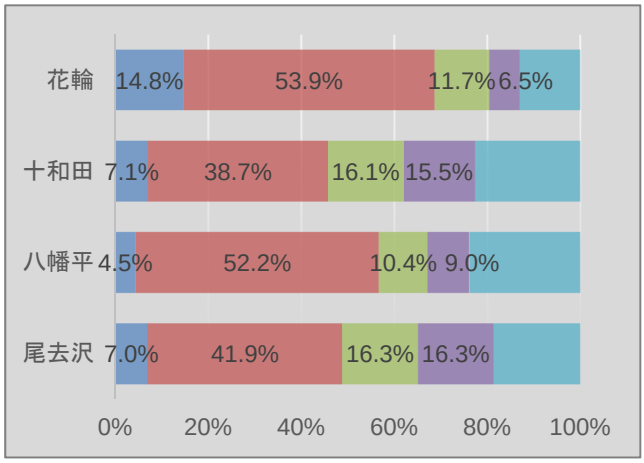




（参考）R3 市民アンケート結果







【分析概要】

▶「満足」「やや満足」と回答した割合は 55.9％で前年を 2.2 ポイント下回りました。

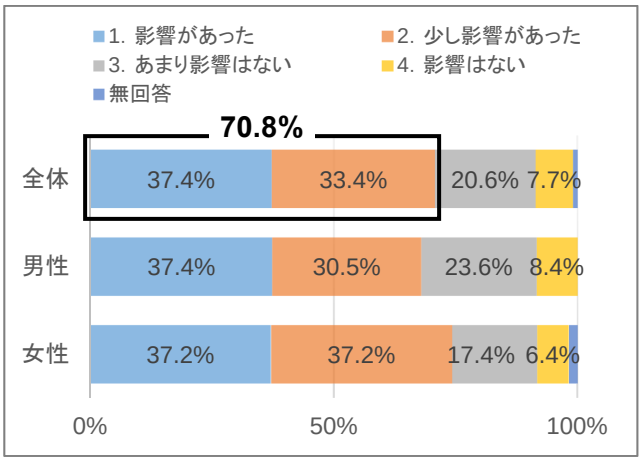
▶年代別では、30 歳未満の満足度が 73.0％と最も高く、他の年代は 50％台となっています。

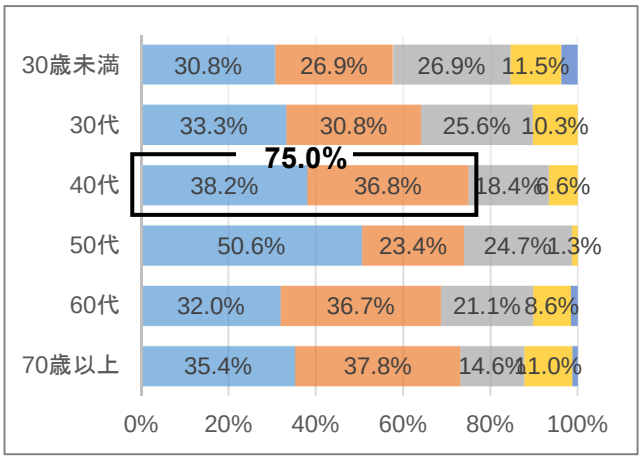
▶地区別では、花輪地区に住んでいる方の満足度が 61.6％で最も高いものの、昨年より 7.1 ポイント下がっているのに対し、他の地区では 1～3 ポイント程度上昇しました。

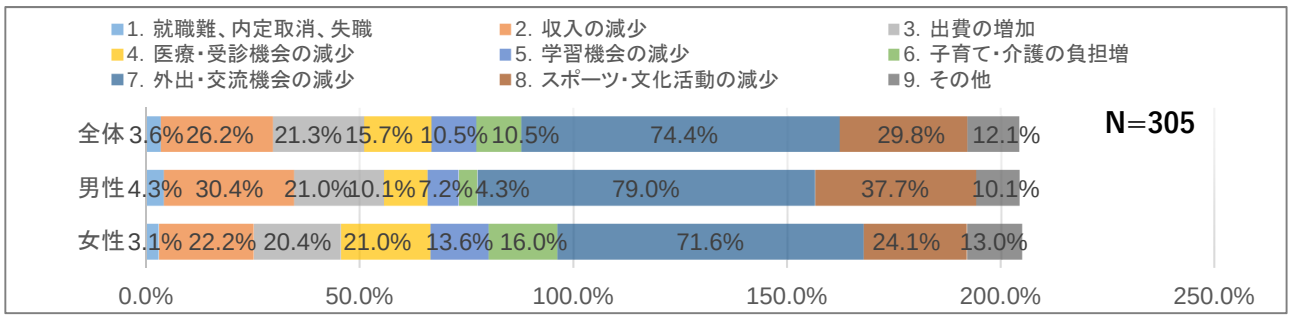
▶不満と感じる理由では、買い物環境の魅力が減少していることや賑わいが少ないことが最も多く、次いで公共交通機関が不便であること、駐車場が少ないことが挙げられています。

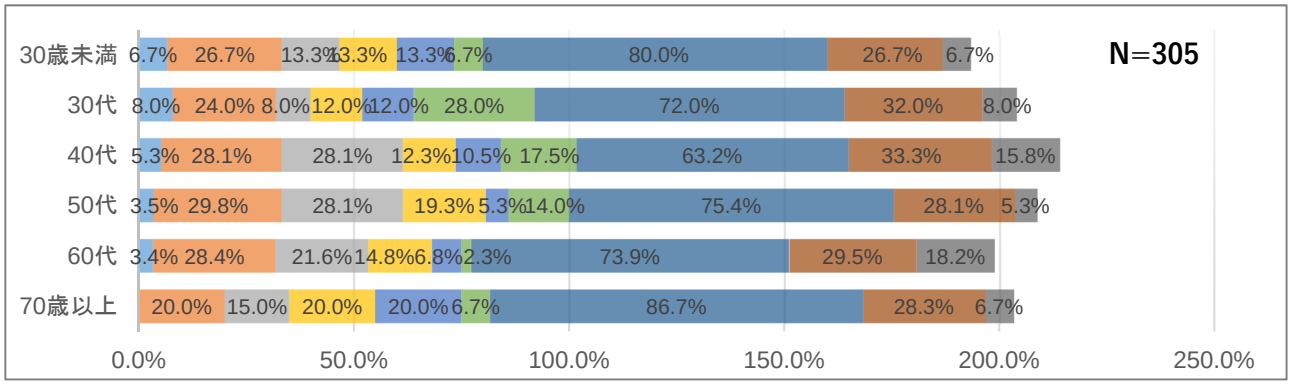
8 新型コロナウイルス感染症の影響について

設問９① 感染症が流行し、あなたの生活に影響はありましたか。また、どのような影響がありましたか。当てはまるもの**３つまで選んで**○をつけてください。









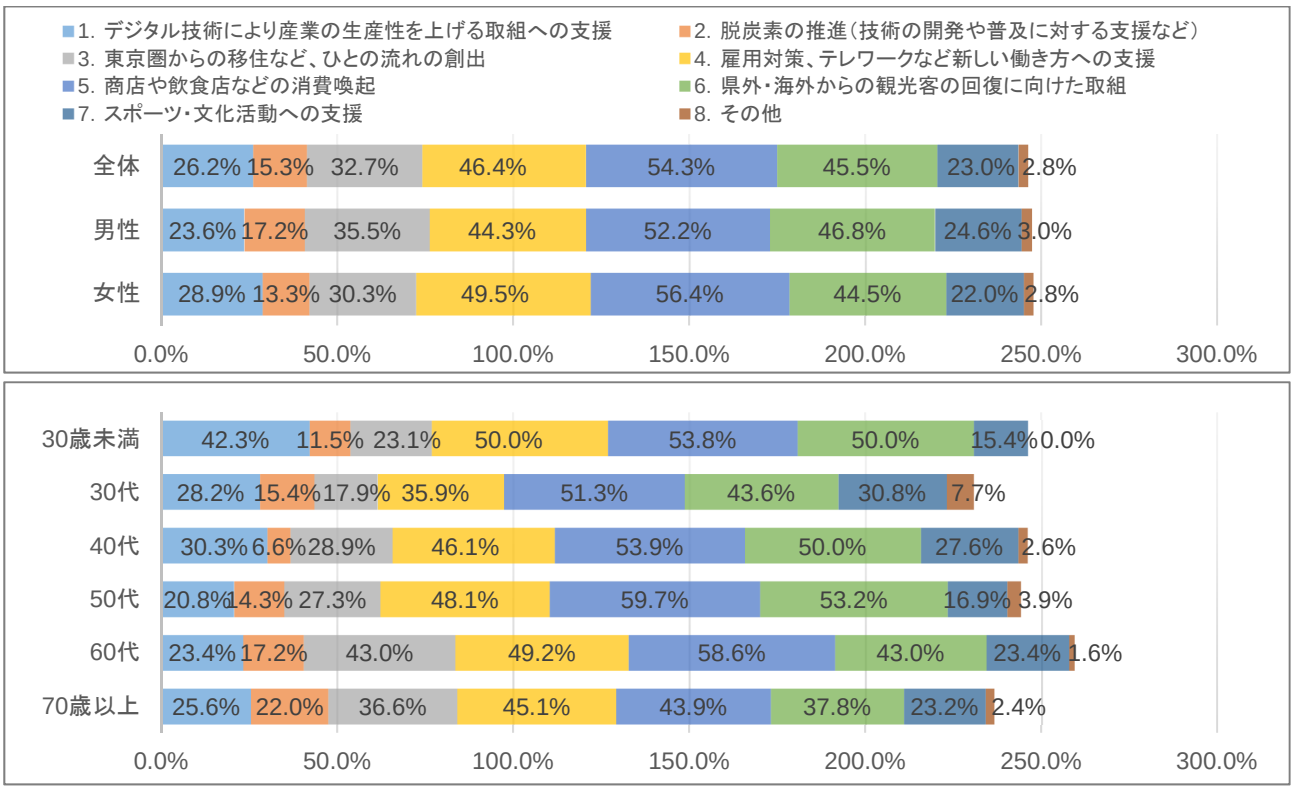
【分析概要】

▶「影響があった」「少し影響があった」と回答した割合は 70.8%でした。

▶年代別では 40 代が 75.0%で最も多く、30 歳未満が 57.7%で最も低くなりました。

▶「影響があった」内容について、最も多かった理由が「外出・交流機会の減少」で 74.4%、次いで「スポーツ・文化活動の減少」が 29.8%、「収入の減少」が 26.2%となりました。

設問９②　新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、今後、市内経済を活性化させるためにどのような施策を実施した方がよいと考えますか。当てはまるもの**３つまで選んで**○をつけてください。



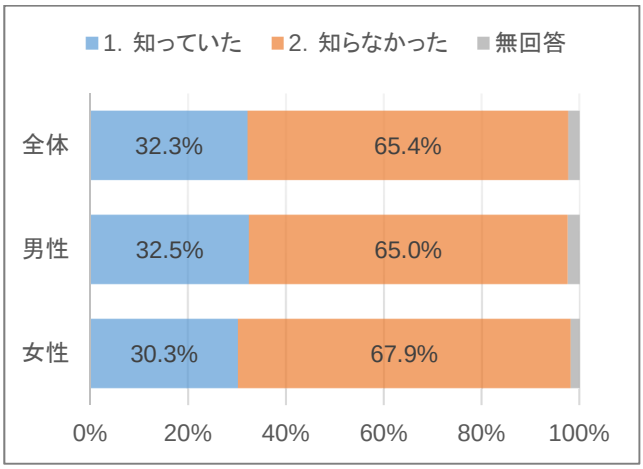
【分析概要】

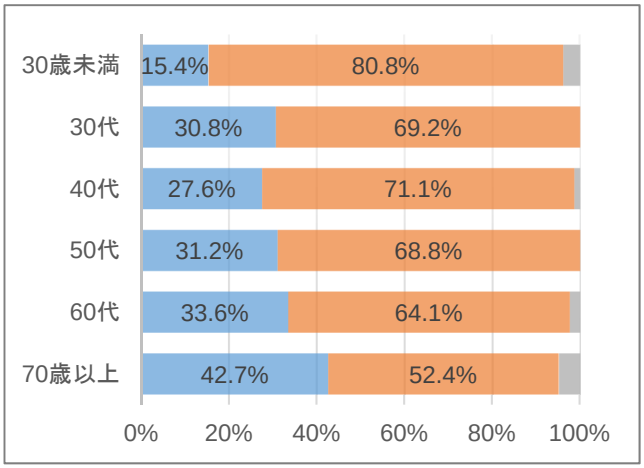
▶市内経済活性化策として最も期待が大きかったのが「商店や飲食店などの消費喚起」で 54.3%、次いで「雇用対策、テレワークなど新しい働き方への支援」が 46.4%、「県外・海外からの観光客の回復に向けた取組」が 45.5%となりました。

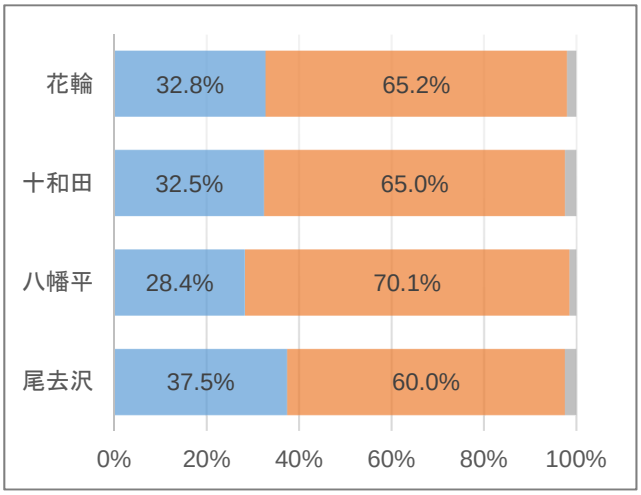
▶年代別では 30 歳未満で「デジタル技術により産業の生産性を上げる取組への支援」が 42.3%、「雇用対策、テレワークなど新しい働き方への支援」が 50.0%で年代別の 1 位となっており、新たな技術等への関心の高さがうかがえます。

9 カーボンニュートラルについて

設問 10① 鹿角市では、令和 4 年 3 月に「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を行い、日本全体の目標である 2050 年より 20 年早い、2030 年のカーボンニュートラル実現を目指しています。このことを知っていましたか。







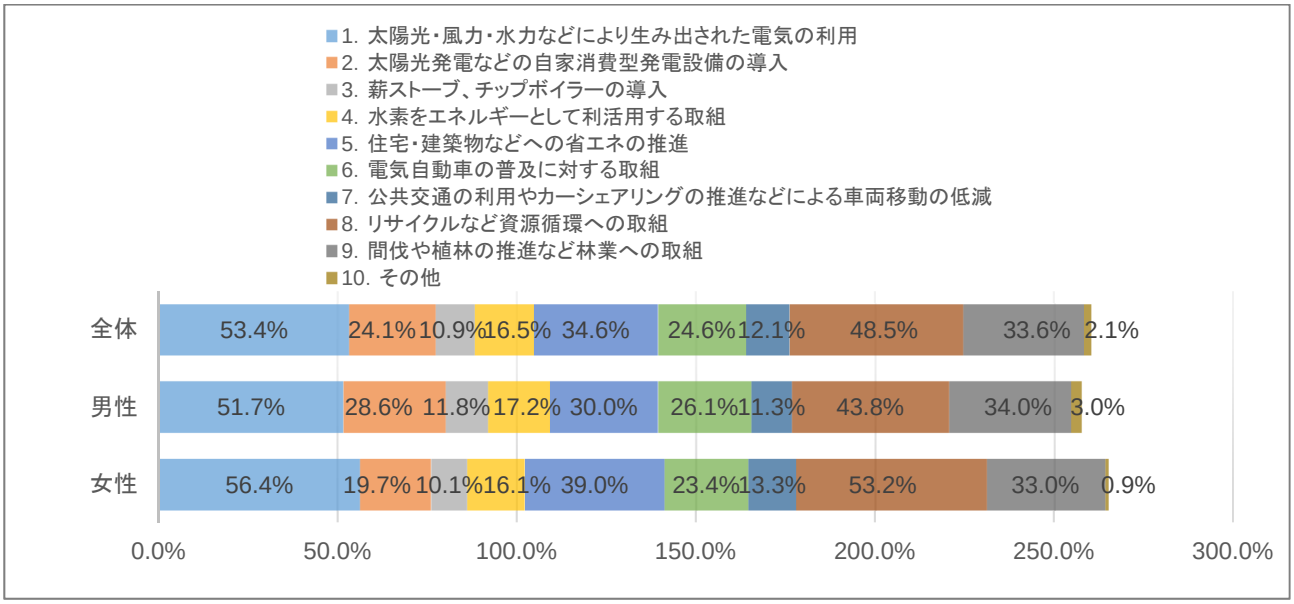
【分析概要】

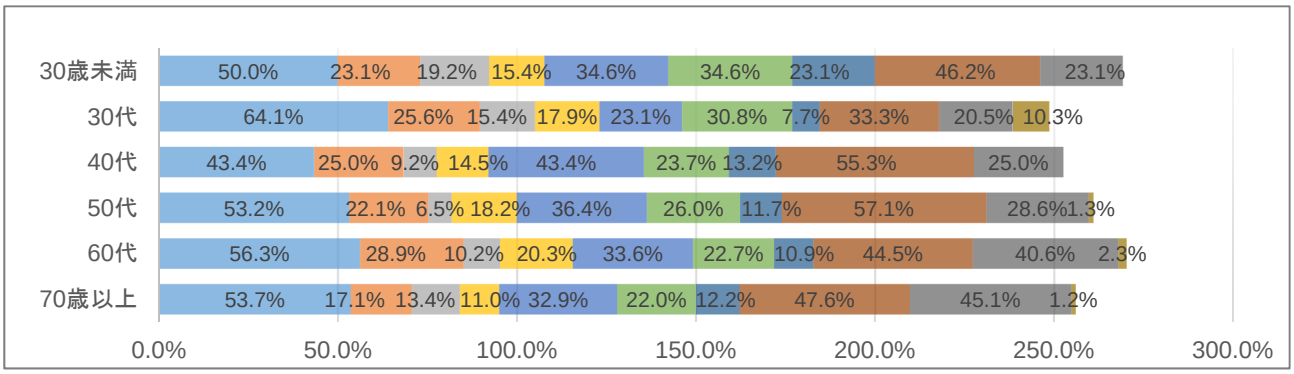
▶「知っていた」と回答した割合は全体で 32.3%であり、男性女性ともに約 3 割にとどまりました。

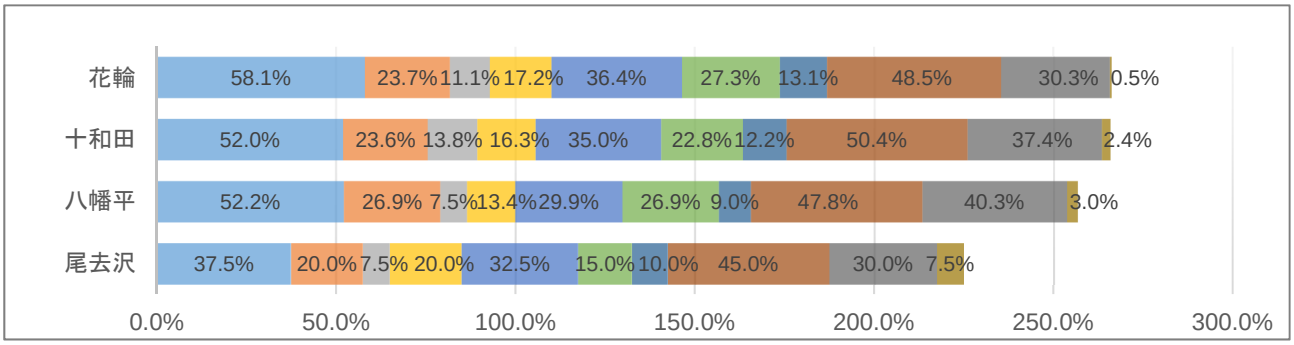
▶年代別では、70 歳以上が 42.7%で最も多く、30 歳未満が 15.4%で最も低くなりました。

▶地域別では、尾去沢が 37.5%で最も多く、八幡平が 28.4%で最も低かったが、差異がほとんど無く、認知度について地域差は無いと言えます。

設問 10②　カーボンニュートラルについて、今後どのような取組を実施していくのがよいと思いますか。当てはまるもの**3つまで選んで**○をつけてください。







【分析概要】

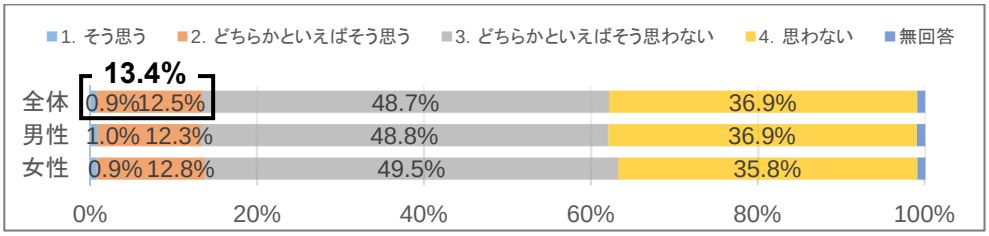
▶「太陽光・風力・水力などにより生み出された電気の利用」が 53.4%と最も多く、次いで「リサイクルなど資源循環への取組」が 48.5%、「住宅・建築物などへの省エネの推進」が 34.6%となりました。

▶年代別でも、全体との比率に大きな差異は見られませんが、30 代では再エネ電気の利用が 6 割を超え、40 代、50 代では資源循環への取組が 1 位になるなど、年代によって若干関心事が異なる傾向が見られます。

▶地域別でも、尾去沢の再エネ電気の利用への関心が他の地域と比べて若干低いですが、全体との比率に大きな差異は見られませんでした。

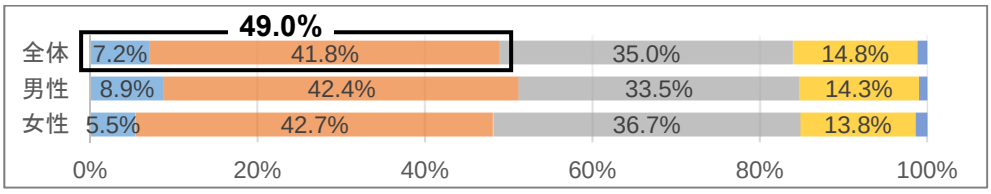
10 まちの満足度について

設問 11①　あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。



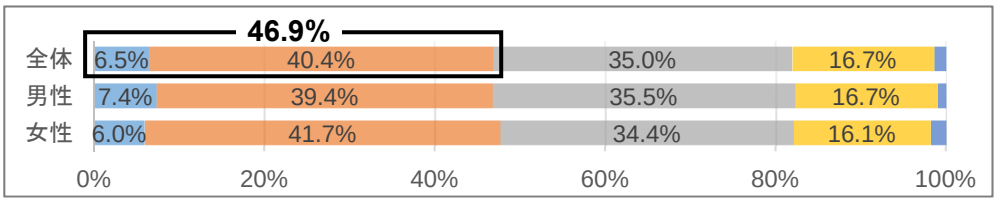
【分析概要】
▶R1 基準値（19.5%）より 6.0 ポイント減少。男性は 2.2 ポイント、女性は 10.2 ポイント減少。

設問 11②　あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。



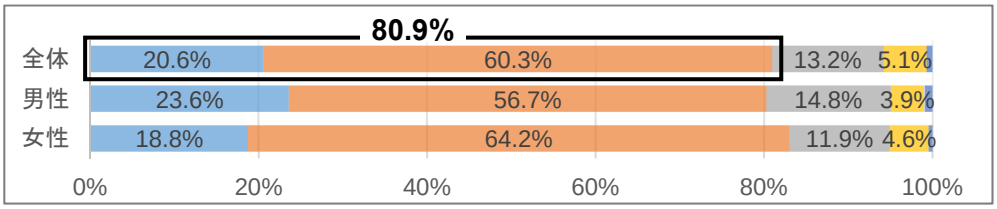
【分析概要】
▶R1 基準値（58.7%）より 9.7 ポイント減少。女性が 12.7 ポイント減。

設問 11③　あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちだと思いますか。



【分析概要】
▶R1 基準値（49.7%）より 2.8 ポイント減少。女性が 4.8 ポイント減。

設問 11④　あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。

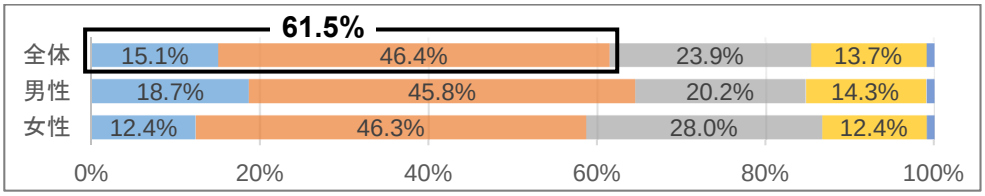


【分析概要】
▶R1 基準値（77.6%）より 3.3 ポイント増加。女性が 4.7 ポイント増。

設問 11⑤　あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたくなる魅力のあるまちだと思いますか。

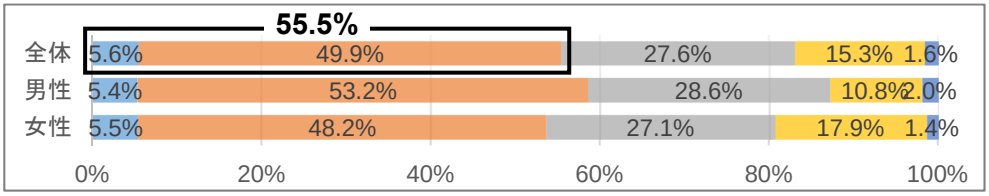
【分析概要】
▶R1 基準値（23.4%）より 0.9 ポイント減少。女性が 2.7 ポイント減。

設問 11⑥　あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。



【分析概要】
▶R1 基準値（51.3%）より 10.2 ポイント増加。女性が10.8ポイント増。

設問 11⑦　あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。



【分析概要】
▶R1 基準値（59.8%）より 4.3 ポイント減少。女性が 4.1 ポイント減。